

ビー・シュア beSure

大特集
ニッポン・インパクト

OCTOBER 2003 No.62
隔月刊 / 880円

日本が世界に与えた影響を再認識そして再評価

ニッポン・インパクト

倉俣史朗を語る 日本の名作がある風景 私の中のニッポン・インパクト
残しておきたいニッポン・プロダクト 日本のデザイナー相関図

倉俣史朗

黒川雅之

横尾忠則

伊藤節

橋場一男

安藤忠雄

柏木博

ナガオカ ケンメイ

インゴ・マウラー

大野哲朗

伊藤志信

橋本夕紀夫

喜多俊之

浅川敏

村澤一晃

サイトウマコト

城谷耕生

立川裕大

ヴィコ・マジストレッティ

近藤康夫

岩倉榮利

高坂孝明

五十嵐久枝

黒川勉

吉岡徳仁

富田一彦

吉田龍太郎

田中一光

川崎文男

黒崎輝男

中原真一郎

ジェームス・イルバイン

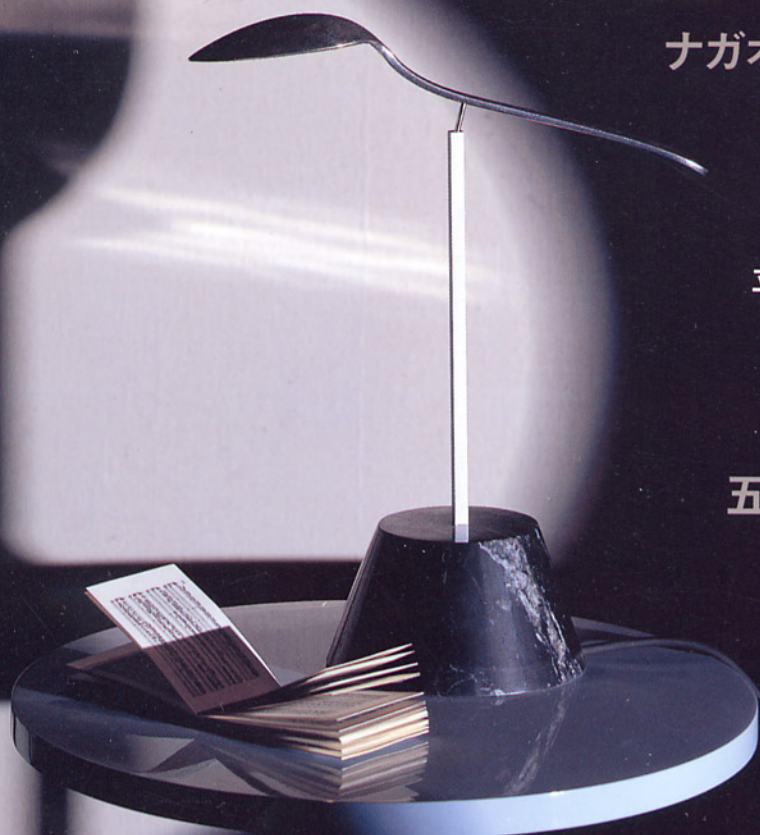
織田憲嗣

仲佐猛

小泉誠

梅田正徳

コンスタンチン・グルシク





初めて買ってもらった椅子は
今も昔も自分の居場所

N邸 港区

03

Murai Stool

Reiko Tanabe

ムライスツール／田辺麗子／1961年●剣持勇、丹下健三らが審査員を務めた、第1回天童木工家具デザインコンクール入選作品。天板部から側板部にかけて曲げられた同じ形状の成形合板3枚の端部を、ヤトイザネで結合させた幾何学的な造形。また縦横天地いずれの方向に置いても水平を保つ。材質はチーク材。MoMAのパーマナントコレクション。(W45×D43.4×H36cm) っぽんフォルム03-5322-6620



Fat Yoko Love Sofa

Toshihiko Sakai

ファット ヨーコ ラヴ ソファ／酒井俊彦／1997年●プロダクトデザイナーの酒井氏が、1993年にカフェ用につくった1人掛ソファ「YOKO」の2人掛タイプ。3層のウレタンにコイルスプリングを採用。7万円という価格からは考えられないほど贅沢な内部構造となっている。ほかにウール100%の青色もあるが、それ以外の色や革などの他素材のオーダーも可能。(W100×D74×SH40×H81cm) っぽんフォルム



Dining Chair

Tadaomi Mizunoe

ダイニングチェア／水之江忠臣／1954年●前川國男建築設計事務所主に家具を手掛けていた水之江氏が、神奈川県立図書館の閲覧用としてつくった椅子が原型。座面を3次元曲面にするなど100脚以上の試作品を経て、食卓椅子として製品化されたロングセラー。最終モデルは今も天童木工が製造している。薄いナラ材形成合板の背と座面を、ブナ材のフレームで挟んだシンプルデザイン。(W45×D52×SH42×H77cm) っぽんフォルム



左奥はキャットタワー。猫はまったくよりつかず、ソファの上にはばかりいるそう。

想い出の詰った家具と
新しい想い出をつくる家具

お下りのベビーチェアに体が合わない
くなった頃、初めて自分用のダイニング
チェアを与えられたNさん。ひとり暮ら
しの家にもち込んで、使い続けている。
「小さな頃、家族はセットで買ったお揃
いのダイニングチェアでした。大きな
つたら私もこの椅子に座るんだって思っ
てたら、製造が中止されてしまっていた。
そこで買ってもらったのが、水之江さん
の椅子。もちろん何もわからなかったけ
れど、1脚だけ違う椅子は、自分の部屋
のように感じられて、お気に入りの場所
でしたね」

水之江忠臣の椅子や剣持勇の「スタッ
キングスツール」など、実家に天童木工
の家具があったことを、山形県出身のN
さんは数年前に気づく。

「雑誌を見ていて、実家にあった台が
「ムライスツール」だと知りました。中に
花柄の保温ポットと急須や茶筒、上には
湯のみを置いてリビングのサイドテー
ブルとして使っていたので、椅子としてつ
くられたとは、まったく知らなかった。
最近、甥っ子が放り投げて壊してしまい、
修理に出した話を親から聞いて、すぐさ
ま譲ってくれるよう頼みました。家具屋
さんにも「これは良い椅子なんだから、
大切に！」って注意されたそうです。い
までも座ることはできなくて、ソファの
サイドテーブルとして使ってます」

ソファは、さまざまなクリエイターの作
品が並んだ展示会場で見つけ、期間中何
回か通い、何度も座って購入を決めた。

「初めて、長く使うことや生活シーンを
考えたうえで買った家具です。それまで
は、本当に欲しい家具に出会うまでは、
安物でいいと思っていて。まず、愛らし
いフォルムに一目惚れ。座りやすいし、
軽いから掃除も楽です。ここはもっぱら
猫の居場所ですね」